システム構成/環境構築ガイド　　　　　　（DSC driver編）

astrollシステム 環境構築マニュアル

－第1.0版－

Copyright © NEC Corporation 2019. All rights reserved.

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複写することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

* LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
* Red Hatは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
* Apache、Apache Tomcat、Tomcatは、Apache Software Foundationの登録商標または商標です。
* Oracle、MySQLは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
* MariaDBは、MariaDB Foundationの登録商標または商標です。
* DSCは、Microsoft Corporation.の登録商標または商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、® マーク、TMマークは本書に明記しておりません。

astrollの正式名称は「astroll IT Automation」になります。

目次

[1 はじめに 3](#_Toc6408744)

[2 機能 4](#_Toc6408745)

[3 システム構成 5](#_Toc6408746)

[4 システム要件 6](#_Toc6408747)

[5 DSC driver － DSC RestAPI 共有ディレクトリ準備 7](#_Toc6408748)

# はじめに

本書では、astrollでDSCオプション機能（以下、DSC driver）として運用する為のシステム構成と環境構築について説明します。

astrollDSC driverを利用するにあたっては、astroll基本機能が構築済であることが前提です。astroll基本機能の構築に関しては、「環境構築ガイド（基本編）」をご覧ください。

　・astroll基本機能

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| マニュアル  項目 | ファースト  ステップガイド | インストール マニュアル | コンフィグレーション ガイド | システム構成/ 環境構築ガイド | 利用手順 マニュアル | メニュー作成ガイド | リファレンス マニュアル | サイジング ガイド |
| システム構成 | ○ |  |  | ◎ |  |  |  |  |
| サイジング |  |  |  |  |  |  |  | ◎ |
| 動作環境（インストール前） | ○ |  |  | ◎ |  |  |  |  |
| インストール |  | ◎ |  |  |  |  |  |  |
| コンフィグレーション |  |  | ◎ |  |  |  |  |  |
| 利用手順 | ○ |  |  |  | ◎ |  |  |  |
| メニュー作成 |  |  |  |  |  | ◎ |  |  |
| リファレンス |  |  |  |  |  |  | ◎ |  |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※○：概要説明　◎：詳細説明

・オプション機能

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| マニュアル  項目 | ファースト  ステップガイド | インストール  マニュアル | コンフィグレーション ガイド | システム構成/ 環境構築ガイド | 利用手順  マニュアル | メニュー作成ガイド | リファレンス マニュアル | サイジング ガイド |
| システム構成 |  |  |  | ◎ |  |  |  |  |
| サイジング |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 動作環境（インストール前） |  |  |  | ◎ |  |  |  |  |
| インストール |  | ◎ |  |  |  |  |  |  |
| コンフィグレーション |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 利用手順 |  |  |  |  | ◎ |  |  |  |
| メニュー作成 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| リファレンス |  |  |  |  |  |  |  |  |

※○：概要説明　◎：詳細説明

# 機能

DSC driverは以下の機能を提供します。

表 1 機能名

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 機能名 | 用途 | WEB  コンテンツ | BackYard  コンテンツ |
| 1 | DSC driver | astrollからサーバ、ストレージ、ネットワーク機器の構成管理を行う | ○ | ○ |
| 2 | DSC RestAPI | DSCを外部から操作するためのRestAPIを提供するコンテンツ | ○ | － |

# システム構成

DSC driverのシステム構成は、astrollシステムと同じです。

DSC RestAPIについては、DSC driverとは別にDSC専用サーバを用意する必要があります。

(一つのサーバにコンソリデーションする構成も可能です。)

ここでは、astrollシステムの推奨構成であるバランスHA型にDSC RestAPIサーバを付加した構成を図示します。

※ ここでは省略した構成図を記載します。詳しくは「環境構築ガイド（基本編）」を参照してください。

DSC RestAPI

DSCサーバ

**DSCAPI**

**機能**

DSC

astrollシステム/DSC driver

Webサーバ [ACT]

Webサーバ [ACT]

Web

機能

Webサーバ [ACT]

DB接続情報

**DSC**

**driver**

ロードバランサー

AP/DBサーバ [SBY]

BackYard

機能

AP/DBサーバ [ACT]

DB

セッション

管理

アップロード

ファイル

DB接続情報

DBMS

構成対象機器

**DSC**

**driver**

サーバ

外部設置データ

# システム要件

DSC driver はastrollシステムのシステム要件に準拠するため、「環境構築ガイド（基本編）」を参照してください。ここではBackYard、DSC RestAPIの必要要件を記載します。

●BackYard

表 4-1.DSC BackYardシステム要件

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **パッケージ** | **バージョン** | **注意事項** |
| PHP | 5.6 |  |

表 4-2.DSC BackYard必要Linuxコマンド

|  |  |
| --- | --- |
| **コマンド** | **注意事項** |
| zip |  |

表 4-3.DSC BackYard必要外部モジュール

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **外部ﾓｼﾞｭｰﾙ** | **バージョン** | **注意事項** |
| ― |  |  |

●DSC RestAPI

表 4-4 DSC RestAPI システム要件

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **パッケージ** | **バージョン** | **注意事項** |
| OS | Server 2012 R2 | ・X64用WMF 5.1 |
| WindowsServer 2012 R2 UPDATE | KB3000850 | PowerShell等のUPDATEも含まれている |
| PHP | php-7.0.17-nts-Win32  -VC14-x64.zip | Non Thread Safeタイプ |
| OpenSSL Win64用 | Win64OpenSSL\_Light  -1\_0\_2k.exe | astrollサーバからREST-API起動時の認証のため |
| Visual Studio2015 | Visual C++ 再頒布可能パッケージ  vc\_redist.x64.exe | PHP実行時、システムエラーの発生を回避するため |

# DSC driver － DSC RestAPI 共有ディレクトリ準備

DSC driverとDSC RestAPIが共通で参照するディレクトリを準備してください。

DSC driverおよび DSC RestAPIインストール後、この共有ディレクトリをastrollシステムに登録する必要があります。「利用手順マニュアル（DSC-driver）」の「インターフェース情報」を参照し、登録を行ってください。